

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

- 1 社会で自立して豊かに生き、社会に貢献することのできる人づくり
- 2 知徳体のバランスのとれた人間力の育成
- 3 地域とともにある学校づくり

○ 学校内外の環境分析

- 1 内部環境
 - ・ 教職員はそれぞれの専門性や持ち味を生かし、着実な取り組みを続けている
 - ・ 児童・生徒は素直で、何事にも前向きに取り組んでいる
 - ・ ICT環境等教育環境が充実している 今後、小中一貫教育校として教育活動を行う上での施設整備が必要
 - ・ 少人数のため、新たな価値観に出会う機会が少ない
- 2 外部環境
 - ・ 地域は豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統がある
※ 新庄村は明治5年の村政施行以来一度の合併もなく、140年余の歴史がある
 - ・ 村が「新庄っ子『宝』憲章」「新庄村子ども条例」を制定し、地域全体で温かく子どもたちを見守り育てられている
 - ・ 令和2年4月新庄村教育振興基本計画が策定された
 - ・ 地域学校協働本部の活動が活発であり、保護者・地域が学校に協力的である
 - ・ 小中一貫教育校であり、9年間を見通した学校教育に取り組むことができる

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

□□ 「夢や希望をもち、心豊かにたくましく生きる新庄っ子の育成」 □□

- 1 目指す学校像
 - ・ 一人一人が大切にされる学校
 - ・ 大人になるための学びの場となる学校
 - ・ 地域とともに創造する学校
- 2 目指す児童・生徒像
 - ・ 将来の目標を持って主体的・意欲的に学ぶ児童・生徒
 - ・ 自己肯定感と思いやりをもち、認め合える児童・生徒
 - ・ 心身を鍛え強い意志を持ち挑戦する児童・生徒
 - ・ 地域を愛し誇りに思い地域との共生を考える児童・生徒
- 3 目指す教職員像
 - ・ 愛情・情熱・創意工夫のある教職員
 - ・ 児童・生徒や教職員、保護者、地域とともに学び、協働できる教職員
 - ・ 自らの資質や能力を高めるために、主体的に研究と修養に努める教職員
 - ・ 15歳の知的自立を組織全体でめざす教職員

○ 具体的な学校経営目標・計画（今年度重点目標）

1. 確かな学力を身に付ける
自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して、問題を解決していこうとする力を養うとともに学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる
① 授業改善（学習環境の整備、授業5の徹底、**主体的・対話的で深い学びの実現**）
自己肯定感の育成 話し合い活動 思考スキル・ツールの活用 ICTの有効かつ適切な活用
② 小中一貫教育の充実
I) 授業交流、相互乗り入れ授業、T・Tの定着（効果的な授業方法の研究）
II) 9年間を見通したカリキュラム編成 III) 5～9年生の部活動の充実 IV) 特別活動の充実
③ 「ふるさと新庄学」の実践・研究（総合的な学習の時間）⇒カリキュラムマネジメント
④ ユニバーサルデザイン化
2. 豊かな人間性、健康・体力
しなやかな（たくましい、折れない）心の育成、コミュニケーション能力の育成、人間関係づくり
①保小中連携・接続 ②地域連携・協働 ③道徳教育の充実 ④体力の増進 ⑤児童・生徒理解
I) しなやかな心（自己肯定感、自己効力感、アサーション）を育む指導体制の確認及び共通理解
II) 多様な価値観を持った人々と関わりがもてるよう、コミュニケーション能力を身に付けさせる
III) 物事に粘り強く取り組めるような精神力・体力（持久力）を身に付ける
IV) 人権教育の充実 いじめ対応（未然防止・早期発見・適切な対応・再発防止）
V) 豊かな自然や伝統・文化に触れ、伝承する
3. 教師力の向上 小中一貫教育発表会の取組に向けた協働
小中の文化の違いを乗り越えて新たな文化を創造する

教職員の仕事が「個業」にならないよう『組織』で動く
『報・連・相・確認』の徹底（分掌・生徒指導・行事・学年会等）
教職員相互のコミュニケーションを図る

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の機能強化と充実を図る

1. の補足： より良い生活習慣や学習習慣を確立する
2. の補足： **自信につながる3要素**（自己肯定感、自己効力感、アサーション） ⇒ **しなやかな心の育成**
・ 五感をはたらかせることで、次への学びを創造する
2. ①の補足： 一貫教育校となり、教職員が小中の枠を超えてつながる。
・ 義務教育9年間を見通して15歳になったときの子どもの姿をイメージしながら小中の教職員で見守り、育てる
2. ②の補足： 家庭や地域と協働する
・ 家庭や地域と連携協働しながら、「郷土」を愛する心を育む（社会に開かれた教育課程）
・ 学校運営協議会の機能を充実させ、学校運営に反映させる
・ 学校だよりやホームページ、リーフレットを利用し積極的に公開していく
2. ⑤の補足： 児童・生徒理解
児童・生徒の話に傾聴し、様々な立場に関わり情報を収集・共有し、早期に問題を発見し、適切な支援を行う